



2021年度

(2022年3月期)

第2四半期

決算報告

NSユニテッド海運株式会社

2021年10月29日

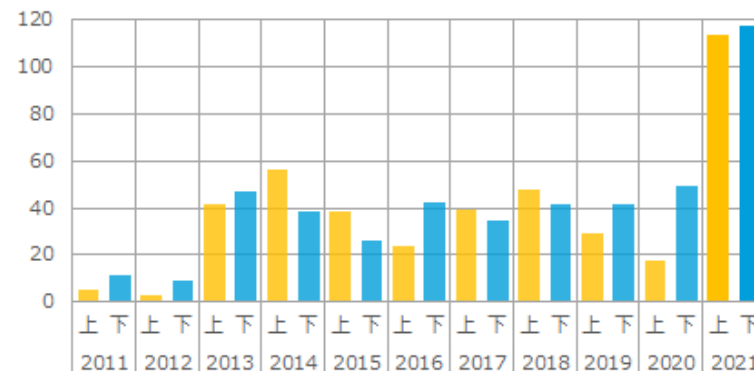
目次

1. 2021年度業績ハイライト	 p. 2
2. 第2四半期決算の概要	 p. 3
3. 2021年度業績見通し	 p. 4
4. 市況見通し	 p. 5
5. 活動状況 ～環境保全～	 p. 6
(ご参考) 財務アウトルック	 p. 7

1. 2021年度業績ハイライト

半期毎営業利益（単位：億円）

【単位：億円】 (連結)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
上期	897	113	105	87
下期	963	117	115	108
通期	1,860	230	220	195



上期業績：長期輸送契約による安定収益＋市況上昇を捉えたフリー船隊が高収益確保

- 世界経済の回復に伴い、鉄鋼原料、穀物等の海上輸送需要が回復。ドライバルク市況は全船型で上昇しBDI（バルチック・ドライ・インデックス）は9月末にかけ13年ぶりに5000ポイントを上回り、フリー船隊の収益が大きく伸びました。

下期業績の見通し：高水準を維持する市況を背景に2010年合併以来の通期最高益を見込む

- 中国の鉄鋼減産による需要の減少や年明けの季節的な要因による一時的な市況軟化が懸念されますが、新造船の当面の竣工量は限定的で船腹供給は絞られていることから、引き続きタイトな需給が予想されます。
- 昨年度までに拡充の図られた長期収益基盤と、総じて堅調が見込まれる市況ビジネスからの収益の積み上げにより、海運ブーム期に並ぶ水準の通期業績達成を見込みます。

配当予想：配当性向は概ね30%を目途とします

中間配当：前回発表の通り、一株当たり95円の配当とします。

期末配当：現時点では未定ですが、年間配当の配当性向は30%を維持する方針です。

2. 第2四半期決算の概要

【連結】 (単位：億円)	2020年度							2021年度			前年度 同期比
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	
売上高	316	342	657	359	368	727	1,385	428	469	897	+ 240
営業利益	1	17	18	25	24	50	67	47	66	113	+ 95
外航部門	0	12	12	19	19	38	49	45	62	107	+ 95
内航部門	1	5	6	7	5	12	18	2	4	6	▲ 0
経常利益	▲ 3	10	8	22	26	48	55	41	63	105	+ 97
親会社株主に帰属する 当期純利益	21	8	29	26	6	32	61	36	52	87	+ 58

外航海運 中国の鉄鋼原料調達先多様化に伴う輸送トンマイルの増加、滞船増の影響で船腹需給はタイトとなりドライバルク市況は上昇いたしました。大型LPGタンカーは、期を通しては総じて軟調な推移となりましたが当社収益に与える影響は限定的なため、営業損益は前年同期比約95億円の大増益となりました。

内航海運 国内製造業や建設部門の回復が牽引しドライバルクの荷動きは堅調でしたが、タンカーは不稼働による減収の影響もあり営業損益は前年同期並みとなりました。

以上により、当第2四半期の連結業績は前年同期比で営業損益では約95億円、経常損益では約97億円、当期純利益では約58億円の増益となりました。

3.2021年度業績見通し

【連結】 (単位：億円)	2020年度			2021年度 (今回予想)			前期比 増減
	上期	下期	通期 (実績)	上期	下期	通期	
売上高	657	727	1,385	897	963	1,860	+475
営業利益	18	50	67	113	117	230	+163
経常利益	8	48	55	105	115	220	+165
親会社株主に帰属する 当期純利益	29	32	61	87	108	195	+134

	2020年度			2021年度		
	上期	下期	通期	上期実績	下期見通し	通期
為替	¥107.67	¥104.67	¥106.17	¥109.33	¥110.00	¥109.67
市況 ケープサイズ	\$15,517	\$16,897	\$16,207	\$36,928	\$33,000	\$34,964
パナマックス	\$9,697	\$14,841	\$12,269	\$29,961	\$27,500	\$28,730
スモールハンディ	\$6,500	\$11,125	\$8,813	\$27,504	\$20,000	\$23,752

2010年の当社合併以来で最高益となる見込み

下期業績の見通し：市況は高水準での推移が予想されることから前回予想を上方修正します

- ・ 年明けは季節的な要因により一時的な軟化が予想されますが、下期も総じて市況は堅調に推移する見込みです。
- ・ 2021年度通期の連結業績予想（当期純利益）は、195億円を見込んでいます。

4. 2021年度市況見通し

2021年度下期も、鉄鉱石、石炭、穀物、マイナーバルクなど、ドライバルクは総じて堅調な輸送需要が予測されます。船腹供給についても、いずれの船型も竣工量は抑えられる見込みであり、市況は総じて堅調に推移するとの見通しです。

海上輸送需要見通し

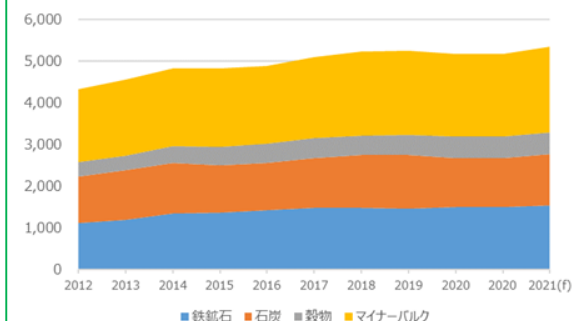
鉄鉱石：中国の鉄鋼減産政策は当面は継続が予想されることから注視を要しますが、それ以外の国々での鉄鋼生産には拡大が見込まれ、これに伴い鉄鉱石の輸送需要は堅調な推移が予測されます。

石炭：中国の豪州炭禁輸措置は足元まで輸送トンマイルの増加を招きましたが、電力不足に悩まされる同国が今後の政策変更に関与するかどうか注目がされます。加えて、北半球が冬場の需要期を迎えるにあたり、天然ガスの供給不足による代替燃料としての追加輸送需要が生じる可能性も指摘されています。

穀物：収穫期にハリケーン「アイダ」による影響を受けたアメリカ産穀物は足下では回復し、2021/2022シーズンの出荷も好調が予想されることから、底堅い輸送需要が見込まれます。

マイナーバルク：短期的・中期的に世界の産業が回復を辿ると予測される中、鋼材輸送や、アメリカや中国のボーキサイト/アルミナ需要を中心に、安定した輸送需要の伸びが期待されます。

海上輸送需要推移（百万ト）



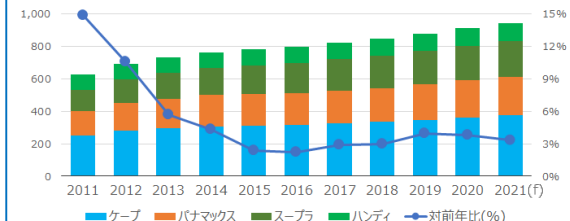
各社資料より当社調べ

ドライバルク船腹供給見通し

足元の市況上昇を受けドライバルクの新造船発注は一時期より活発になりましたが、竣工時期は数年先であるため、今年度下期の各船型の竣工量は上期比でも下回り、船舶のスクラップは手控えがみられるものの、船腹量の伸びは引き続き抑制されるものと見込まれます。

一方、新型コロナウイルスの感染状況によっては、各港湾の検疫体制や船員交代への規制が今後も変更されることが予想され、これに伴う船腹の稼働率低下や各港滞船状況への影響が一層、船腹需給をタイト化する可能性があります。

ドライバルク船腹量見通し（百万DWT）



各社資料より当社調べ

現時点における2021年度下期先物指標

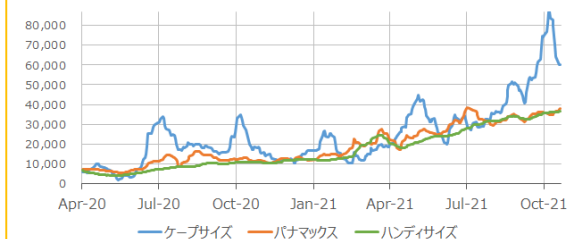
船型	2021年度下期平均
ケープサイズ	\$40,600
パナマックス	\$35,200
スモールハンディ	\$32,700

10/20付 先物指標値より算出

鉄鋼原料や石炭を中心に各船型の輸送需要が高まる中、港湾の検疫強化やそれに伴う滞船、船員交代措置等が市況を一段と押し上げています。これにより、市場における2021年度下期の市況見通しは、当社業績予想の前提を上回る水準となっています。

船型別市況推移（\$/day）

出典：Baltic Exchange

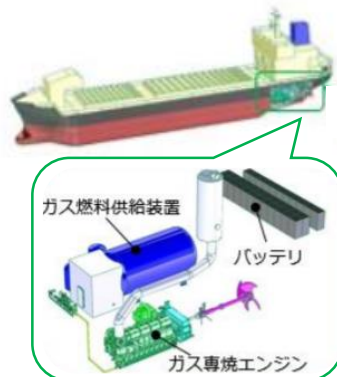


5.活動状況 ～環境保全～

【内航】LNG燃料船建造合意

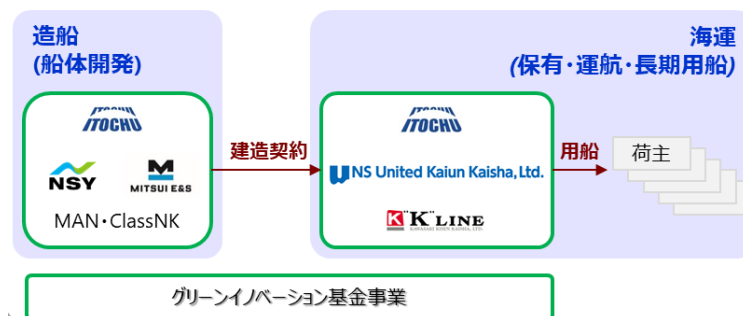
本船は2024年2月竣工予定の国内初となるLNG専焼主機搭載船であり、LNGタンクには日本製鉄㈱が開発した7%ニッケル鋼板を船用タンクとして初めて使用することを計画しています。本船のメインエンジンのCO2排出削減効果は、従来の同型船比でマイナス23.56%（常用出力時は約マイナス30%）となり、リチウムイオンバッテリーによるハイブリッド推進システムで港湾内ゼロエミッション航行も実現します。

なお、本船建造は、環境省地球環境局と国土交通省海事局による令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金「社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入促進事業（うちLNG燃料システム等導入促進事業）」に採択されています。



【外航】GI基金事業に採択

本年6月にご報告いたしました「次世代船用燃料として期待されるアンモニア利用の共同研究」につきまして、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した事業「グリーンイノベーション基金事業/次世代船舶の開発プロジェクト/アンモニア燃料船の開発」に関係5社で応募し、採択されました。本プロジェクトは2028年までのできるだけ早期にアンモニア燃料船を日本主導で社会実装し、他国に先駆けて推進システム・船隊開発と保有・運航を目指すものです。



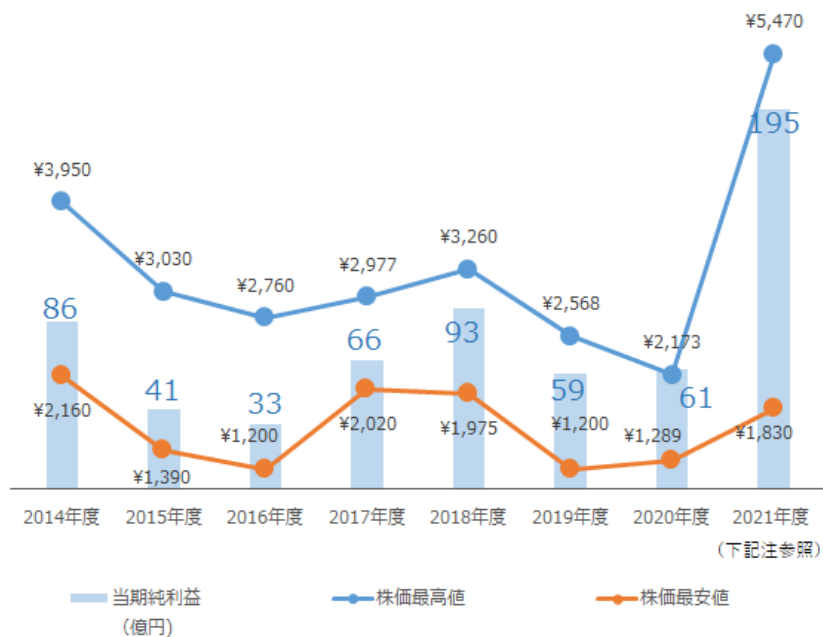
温室効果ガス排出量に対する第三者検証による検証声明書を取得

2021年7月に自社で算定した当社グループのScope3を含む温室効果ガス排出量に対し、一般財団法人日本海事協会（ClassNK）による第三者検証を受け、検証声明書を取得しました（算定対象期間は2019年1月1日から2020年12月31日まで）。国際規格に従って排出量を正確に算定・把握した信頼性の高いデータをもとに、引き続き温暖化効果ガスの排出量削減に取り組んでまいります。

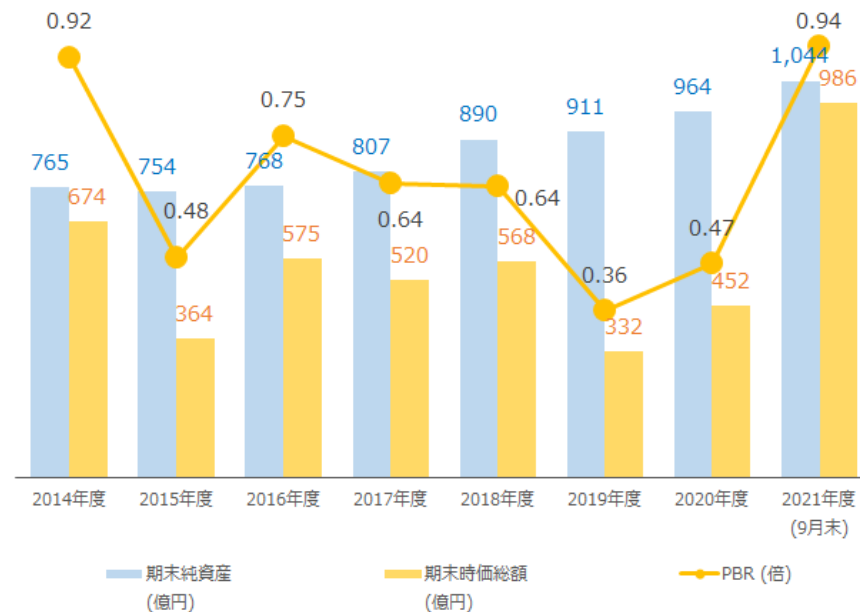


(ご参考) 財務アウトlook

当期純利益と期中株価の推移



期末純資産・時価総額

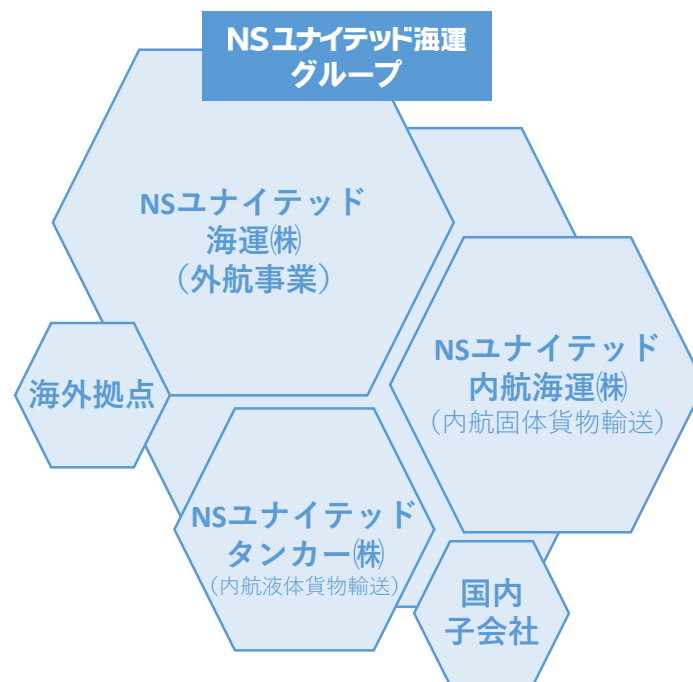


NSユニテッド海運株式会社

NSユニテッド海運グループは、
誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて
社会の発展に貢献します。

(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。



当社ウェブサイト：<http://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411